

むさしの科学と戦争研究会

2018 年学習会

「抵抗の文学と吉祥寺文化村」

日時 2月18日(日) 午後7時~9時

会場 武蔵野プレイス4階フォーラム

(JR・西武多摩川線武蔵境駅南口徒歩1分)

講師 伊藤 純さん

(貴司山治ご子息 貴司山治 net 資料館管理者)



伊藤純さん

資料代 500円

戦前・戦中期、吉祥寺にプロレタリア作家がいた。その名は貴司山治(本名伊藤好市)。その家には、吉祥寺界隈に住んでいた多くの同人が集まった。

拷問の末、虐殺された小林多喜二を引き取り、後に「小林多喜二全集」を刊行。治安維持法で逮捕監禁されて拘禁鬱症に罹っていた榎村浩を住ませ、彼の多くの著作を自宅の庭の土中に保管し、戦後に伝えた。

彼の周囲には、江口渙、大宅壮一、中野重治、徳永直など、錚々たる作家、文化人が出入りし、さながら吉祥寺はプロレタリア文学の花咲く都であった…

今回は、貴司のご子息で研究者でもある伊藤純さんをお招



小林多喜二



榎村 浩

きし、北の小林多喜二(小説家・秋田→北海道)、南の榎村浩(詩人・高知)と並び称される二人の作家をはじめ、貴司を巡る「吉祥寺文化村」について、ご講演をいただく。



貴司山治1930年代



主催 むさしの科学と戦争研究会

連絡先 080-3157-1858 (鳥居)

Email musashinosensoten@gmail.com

Facebook <https://www.facebook.com/musashinoantiwar>

Twitter <https://twitter.com/musashisensoten>

